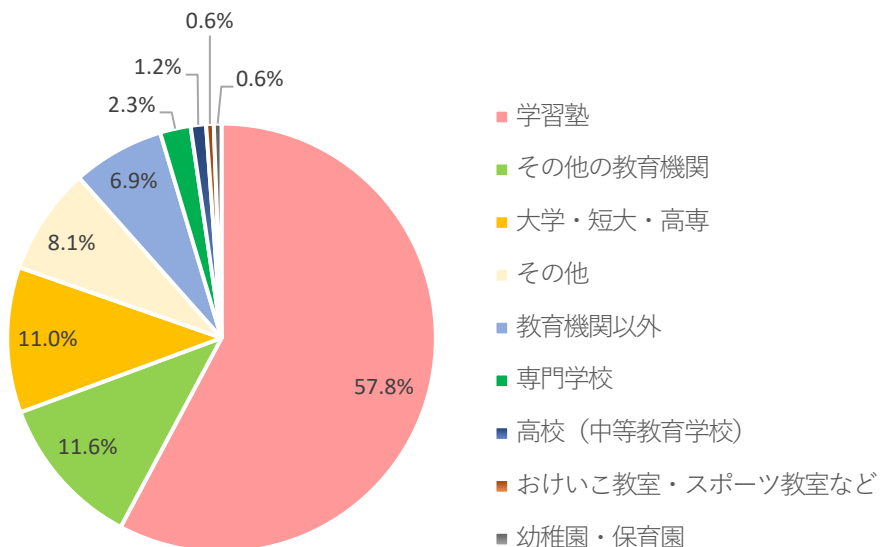


令和4年度 日本青少年育成協会 講演会 5月28日  
人生を切り拓く力 ー現代を生きる子どもたちへー 岡田武史様

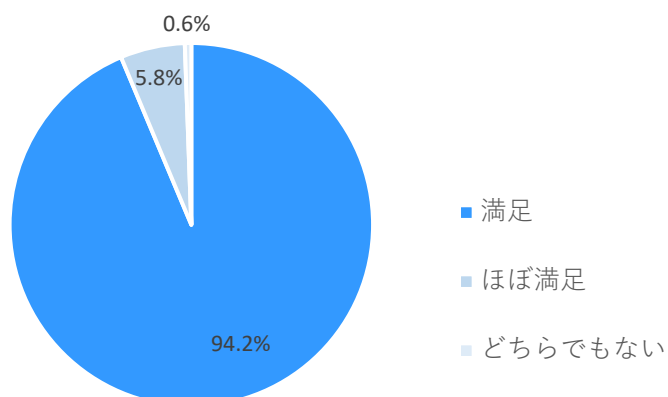
(1) 所属についてお聞かせください。

173件の回答



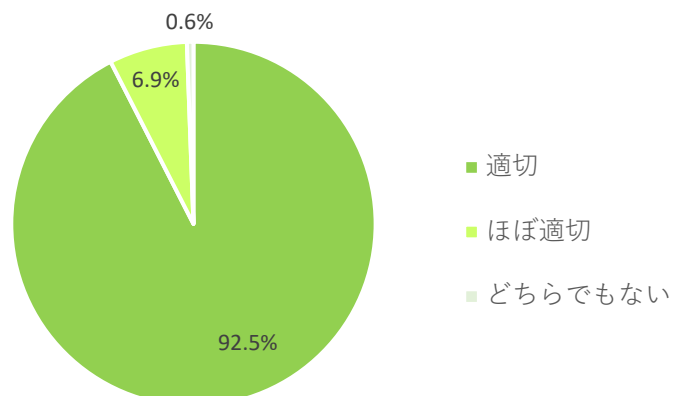
(2) 満足度をお聞かせください。

173件の回答



(3) 申込方法・ご案内方法についてお聞かせください。

173件の回答



# 令和4年度 講演会アンケート(抜粋)

・大変勉強になり、また今後の励みになる内容でした。こんなに心熱くなるお話をお伺いできるなんて、本当に幸せに思います。今まで今治に行ったこと、興味を持ったことがありませんでしたが、是非一度行ってみたいと思いました。また学生時代社会学を専攻しておりました、企業、人、街、行政一体となってまちづくりをしていく、そういったものの本当に良いモデルケースだと感じました。貴重なお時間をいただき本当にありがとうございました。

・「志高く」「死に物狂いで」「夢を語り」「リスクを恐れずチャレンジする」コミュニティを作り、市場を作る。様々な言葉を、自らの行動に取り込み、チーム作りに反映させていこうと思います。今回は本当にありがとうございました。

・自由の根底には原則があるという話がとても印象に残りました。生徒の主体性を育てるためには、その根本に人として、生きていくうえで大切にしなければならない原則を人間教育として伝えていかなければならないのだと再認識いたしました。

・とても素晴らしい講演会でした。岡田監督かどうかという想いで今治に行かれ、活動されているのか、大変興味があったのですが、よくわかりました。

日本代表選手でさえ、自分でなかなか考えられないことが驚きでしたが、日本では型があまりなかったことを知り、非常に納得がいききました。

日本の「守破離」という言葉がある面では世界共通ということもわかり、学びとなりました。ありがとうございました。  
・理念や大きなビジョンを持ち続けること・諦めずに続けることに共感して人々が集まり、気づけば実現できる段階まで来ていたということに感動しました。こういった話も会社でよく耳にする話でとても身近に聞くことができました。頑張ろうという活力をもらえました。ありがとうございました。

・岡田監督の経験を交えたお話を聞いて、子ども達と関わる上で自分が持っていた認識が少し変わりました。型にはめることを嫌ってききましたが、正しい型があった上で自分の意見を持つことの大切さを伝えていきたいと思います。

・サッカーの岡田武史監督のお話が聞ける！という気持ちで参加させていただいたのですが、講演会を聞いて「若い人」と言われる私たちの価値や、今後していくべきこと、次世代に伝えていくべきことを学ばせていただきました。自立精神を作るためにも、人々の絆を作るためにもサッカーというのは素晴らしいスポーツだと改めて気付くことができました。お忙しい中このような機会を作ってくださいました日本青少年育成協会のスタッフの皆様、そして講演をしてくださった岡田武史様、本日は誠にありがとうございました。

・本日はご講演ありがとうございました。主体的に考え、自律して生きる、夢と愛を持って行動していこうと感じました。便利になりすぎて何も考えなくても生きている世の中だからこそ、自分がどんな生き方をしていきたいのかを考えさせていく、自分の頭で考えて行動できる人を育てていくことが教育者としての使命だと感じました。

・「夢を語り、一步踏み出す」、「危機感を感じ遺伝子にスイッチを入れる」非常に胸に刺さりました。私自身、最近は一歩を踏み出すこともせずに、日常を惰性で過ごしていることもありましたので猛省しました。一步踏み出すきっかけをくださり、本当にありがとうございました。

また、一步踏み出し、その後も岡田さんのように歩みを止めない仕組みを作りたいとも思います。

・動画における、不登校の子どもたちの生き生きとした表情が印象的でした。岡田さんが仰っていた通り、日本人は主体的に物事を考えることが出来ないとされており、スポーツにおいて同じことが見られるということが興味深かったです。最近では教育の分野においても、主体的・対話的な授業に注力を入れています。スポーツでも、教育でも、子どもたちがどうすれば自分で考えて行動することが出来るのかを、私たちも考えていかなければならないと思いました。

・これからの子どもたちに必要なことは主体性と自立であること。「考える」「自分で判断する」ことの重要性。目標や夢に向けて本気で取り組んでいる人に人は必ず付いてくる。考える前にまずやってみることの大切さ。など岡田さんの経験を聞いた上でさらに以上の大切さを学びました。時には涙しそうになるほど興味深いお話ばかりで参加して本当に良かったです。本日はありがとうございました。

・岡田さんのお話の全てが興味深く、楽しくて、考えさせられる内容ばかりで、もっともっとずっと聞いていたいぐらいでした。今はSNSも普及し、何かあればすぐネットを見る、ノウハウ本で何か自分にできそうなハウツーだけ取り入れてすぐに結果を出そうとする、自分よりも他人ばかり見てしまう、そんな自分に疲れていたところだったので、岡田さんの主体性ある教育のお話がとても勉強になり、これまでの価値観は一回壊して、何か新しい一歩を踏み出そうと思いました。これからは、すぐに結果を求めるのではなく、人ではなく自分を見て、1ミリずつ夢を叶える行動を繰り返していくことにします。本日はまさに人生を切り拓いていくための、貴重なお話をありがとうございました。  
・コロナ禍により、クラスターを恐れて、様々な課外活動の機会が奪われました。そんな中でも昨夏、子どもたちに自然との共存を学ぶ機会を作られたこと、岡田さんの人生観・使命が根底にあればこそだと感じました。「様々なハードル・プレッシャーを、人が与えるとパワハラになるが、自然が与えるなら関係ない。その理不尽といえるまでの逆境を、必死になって乗り越えるしかない」という言葉が、深く印象に残りました。これからの自身の人生において、立ち返る言葉の1つになりました。ありがとうございました。

・「これからの子どもたちには、ロールモデルや正解がない。だからこそ、自分で考え、自分で判断し、決断しないといけない。」というお言葉がすごく心に残っています。岡田さんがおっしゃっていたように、大人が全部言った方が早いしくいと思います。でも、子どもたちに考えてやらせるということは、「子どもたちを信じる」ということなのかなと、私は思っています。だからこそ、教育に携わる者として子どもたちを信じて日々過ごしていきたいと思います。